

広島大学 湯川記念館史料室

©2022 YHAL, YITP, Kyoto University
京都大学基礎物理学研究所 湯川記念館史料室

広島大学

B) 科学はもともと、その真理探求の真摯な姿勢と、
国際協力の友誼的発展とのゆえに、今日の偉大な発展を
得、また、そのゆえにこそ、科学は人類の幸福に寄与し
得たものがあります。

この科学の特性は、特に今日の時機に、平和を
創造し、平和共存を実現する上での最も重要な極
限をわななければなりません。

従って又、科学者は、真理の追究者として、現在の
混沌たる政治・社会情勢の中で、人類が当面に
いる核戦争の危機の根源を明らかにし、平和を創造
する社会的責任を果さなければなりません。

さらに又科学者は、国際的連携によって、人類の
幸福に寄与する科学技術の発展を~~進~~^うめることに努力
を拂わなければなりません。このことは同時に、現在
の国際緊張を緩和し、恒久平和を確立する上でも
大きな貢献をなさねばなりません。

これらの任務を果すために、私たち科学者は、互に
連帯感を以て団結し、任務を有効に遂行する態
勢を整えると共に、他方、在米が初めて核兵器の
惨禍を経験し、又誇るべき平和憲法を支持成立さ
せた日本国民の原水爆禁止運動が、過去において

c092-006-015

巻尾

広島大学

在野の核戦争を阻止する上で大きな貢献をなされた
ことを考えますとき、この国民運動<sup>が、一歩も西しい方向に押し進め
られるた
めにも、</sup>に対しては、^{科学者}
として、その機能を復元<sup>るという任務も重
なるという見方がある</sup>を視しな
ければなりません。

私たちはこの立場で、去る5月7日から3日
在野最初の被爆地広島市に赴き、広島県竹原市で
^{行なつた}平和創造の取り組み^{を今晩に当たって、}を遂行しました。私たち
の到達した結論の一部をここに述べて、広く同業の
士、なう心に国民の共感に訴えるものであります。